

有識者意見の概要及び意見に対する対応

1. 調査研究課題名 居住者の多様性を考慮した居住環境に関する研究	
2. 有識者意見の概要及び対応 有識者 : 明治大学教授 高見澤 邦郎 氏 (株)まちづくりテラス取締役社長 松本 昭 氏 千葉大学助教 鈴木 雅之氏	
意見の概要	意見に対する対応
<p>(全体について)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 公営住宅を中心とした多様性施策に対象を絞ってはどうか。 ・ 居住者の属性の多様性より、多様性施策に焦点をあてて検討してはどうか。 <p>(地区の多様性と居住環境評価について)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 多様性を分析しようとする、ミクロに、1人を単位として見ていかなければ見えてこないことも多い。分析のスケールをどこまで落とせるかが問題である。「都市」より小さな単位である地域・地区の範囲をどのように特定するかについて検討する必要がある。 ・ 住宅整備主体や建て方といった住宅に関わる多様性と居住環境評価の関連を分析することで、その有効性を示すことが必要である。 <p>(国内調査について)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 建て替えや建設といったハード対策だけでなく、ソフト対策についてもみておく必要があるのではないか。 ・ 事例調査において、公共のみが行っているのではなく、民間も取 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 公営住宅とそれらを含む地区に焦点をあて、分析や事例調査を行うこととした。 ・ 調査研究全体を通して多様性施策を中心とした分析・検討を行う。居住者の多様性については、多様性施策に関わる分析や施策検討の中で行っている。 ・ 収集できるデータによって制限されることから、国勢調査のメッシュを地区の単位とすることとした。 ・ 住生活総合調査、住宅土地統計調査、国勢調査のデータを用いて、住宅や地区の多様性と居住環境に関する統計的な分析を行った。 ・ 事例調査の選定において、ハード対策だけでなく、ソフト対策も行っている富山市と千葉海浜ニュータウンをとりあげた。 ・ 公共が民間と連携しているような事例について選定した。

有識者意見の概要及び意見に対する対応

り込んだような事例をみていく必要がある。

(海外調査について)

- ・ イギリスにおいては、テニユア・ミックス（所有形態が混在した）住宅整備の仕組みがある。
- ・ フランスについては、住民の多様性が住宅政策の根底にあり、それを促進する施策を行っている。

- ・ 英仏において、多様性施策に関する国や自治体の取り組みについて事例調査を行うこととした。